

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

創立121年周年を迎える歴史を有する本校の役割は、生徒・保護者・地域・社会のニーズに応じた生徒の進路実現を図り、地域・社会に有為で未来を拓く人材を育成することにある。「グローバル・リーダーズ・ハイスクール (GLHS)」と「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」としての責務を理解し、さらに充実した教育活動の展開を図る。

- 育てたい生徒像： ○岸高生の誇りと高い志を持ち、主体的な学びができる爽やかで骨太の生徒  
○チャレンジ精神に富み、将来、リーダーとして、未来を拓きグローバルに活躍する生徒
- 目標とする学校像： 「すべての教育活動を通じ、生徒・教職員がともに、主体的な学びで成長する学校」をめざす。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力・グローバルリーダーの育成

次期学習指導要領を見据え、教育課程を軸にした「カリキュラムマネジメント」を行うことで、高い志と確かな学力を併せ持ち、チャレンジ精神に富む、豊かな未来社会を拓く『グローバルリーダー』を育成する。(1)(2)の取組で、グローバルリーダーとしてのコンピテンシー(資質・能力)：英語運用力や未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力」、チャレンジ精神を育成する。

## (1) 生徒の持つ力を最大限に引き出す

- ア いわゆるアクティブラーニングの視点での授業「主体的・対話的で深い学びの授業」に取り組み、多面的・多角的学習評価を行うことで、未来型の確かな学力の育成をめざす
- イ 授業目標や学ぶ意義を「岸高スタンダード」として各教科で共有し、授業公開週間や教員研修等で、教科横断した学校組織としての授業改善に取り組む
- ウ 「土曜の午前は学習タイム」を徹底し、生徒が主体的に学ぶ
- エ 「岸高スーパークラス」設置による切磋琢磨で生徒の持つ力を最大限に引き出す  
※生徒向け授業アンケートの項目8「授業に興味・関心を持つことができた」と項目9「知識や技能が身についた」H28 学校平均(3.06/4点満点)を3年後に、3.15以上にする  
※すべての教科科目で、観点別学習状況の評価を導入し、教科特性に合わせてルーブリック評価やCan-doリストなど学習の明確な指標を示す

## (2) グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)としての学力向上や高い志に係る内容の充実を図る。

- ア 英語運用力の向上。TOEFL仕様の授業の導入等により、英語4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく身につけさせる
- イ グローバルリーダー養成プログラム等の外部連携の取組を活用し、海外大学生や高校生とのディスカッション・プレゼンテーションを推進する
- ウ 地域協働や外部連携等により、SSHやGLHSの活動を深化、普及する
- エ 課題研究の手法を一般教科に広め(AL型)、ICT機器の活用も図る  
※TOEFL iBT チャレンジテストのスコアを3年後、ステージ2(対象人数の10%以上が80点以上、20%以上が60~79点)をめざす

## (3) 「朝読」(読書活動)をカリキュラムマネジメントする

## 2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み

充実した学校生活の結果として「進学」を捉え、進学実績のみを求めるのではなく、生徒が主体的に考え、それぞれのキャリア(将来像)の実現を図れるよう、学びに向かう力・人間性を涵養する。ALL文理学科への改編で、第1志望を貫き「入りたい大学」合格をめざす! 機運の醸成をめざす。

## (1) GLHS、SSH事業を活用して3年間を見据えたキャリア教育を実施する

- ア 興味関心を高める体験的キャリア教育を体系的に行う(生徒のハートに火をつける体験)
- イ 場の力を活用して主体的に学びに向かう力を育み、モチベーションを喚起する
- ウ 全員が課題研究に取り組む体制を構築する

## (2) 国立大学志望90%以上という生徒の進路希望の実現をサポートし、海外の大学への進学にも対応する

- ア 低学年(1年2年)での学習習慣、時間管理能力を確立する(岸高手帳の活用)
- イ 進路指導部が主導する進路指導ホームルーム計画や進路指導の取組をさらに充実する  
※国立大学進学者の合格者数を3年後に60%以上、あわせて難関大学(東大・京大・阪大・神大・旧帝大など)の受験者増をめざす  
※(生徒向け)学校教育自己診断における進路指導の満足度80%以上を維持し、3年後に90%以上をめざす  
※海外大学進学者1名以上をめざす

## 3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み

主体的に参加する学校行事・部活動等の充実した学校生活こそが、卒業後の力の源になることから一層の充実を図る。また、グローバルで幅広い視野や互いを尊重するところ、コミュニケーション力を持ち、多様な人々と協働して自ら未来を拓けるよう、豊かな感性や体力や健康を育む。

## (1) 学習とクラブ活動・学校行事の両立への意識を高める

- ア 学校生活の主体的な取組みを充実する
- イ クラブ活動の奨励とクラブ活動を核にしたリーダーを育成する
- ウ 社会人としてのマナー、人権意識、主権者意識を醸成する

## (2) メンタルサポート体制を充実させる

教育相談室(教育相談&支援教育)を充実し、支援の必要な生徒に合理的に配慮する

## (3) 多様性を感じる体験や異文化理解によるグローバル教育を推進する

- ※(生徒向け)学校教育自己診断における学校行事やクラブ活動の満足度90%以上とクラブ活動参加率90%以上を維持する
- ※(生徒向け)学校教育自己診断における国際(理解)教育の満足度80%以上を維持し、3年後に90%以上をめざす

## 4 地域・保護者との連携と社会参加・社会貢献

SSHの成果・GLHSの活動等や学校情報を地域や保護者に積極的に情報発信する。危機管理やワークライフバランスの視点を持ち、地域協働による学びを通して、社会参加・社会貢献の意識を醸成する。生徒と教職員がより安全で安心に学べる学習環境の構築をめざす。

- (1) 学校情報を収集し、地域や保護者に情報を発信する
- (2) 地域を中心とした社会参加・社会貢献に取り組む
- (3) 生徒と教職員が安全で安心な学習環境を充実する

※(保護者向け)学校教育自己診断における情報提供の満足度90%以上を維持する

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成30年12月実施分]	学校運営協議会からの意見																																	
<p>・学校経営計画で、評価指数としている学校教育自己診断の項目について</p> <p>◎1年2年3年3つの学年の合計 肯定的な意見の割合</p> <table border="1" data-bbox="153 388 884 958"> <thead> <tr> <th>質問項目</th> <th>H30</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入学して満足している (生)</td> <td>87.5%</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>入学して満足して生活している (保)</td> <td>93.9%</td> <td>90.7%</td> </tr> <tr> <td>授業に満足している (生)</td> <td>80.7%</td> <td>76.0%</td> </tr> <tr> <td>学校行事に楽しく参加している (生)</td> <td>90.7%</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>学校行事に楽しく参加している (保)</td> <td>96.8%</td> <td>93.6%</td> </tr> <tr> <td>土曜講習や千亀利セミナーに参加するなど学習時間として活用している (生)</td> <td>61.2%</td> <td>54.7%</td> </tr> <tr> <td>校長ブログやメールで学校の様子が発信されている (生)</td> <td>83.5%</td> <td>75.8%</td> </tr> <tr> <td>校長ブログやメールで学校の様子が発信されている (保)</td> <td>91.6%</td> <td>86.2%</td> </tr> <tr> <td>進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (生)</td> <td>89.7%</td> <td>84.6%</td> </tr> <tr> <td>進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保)</td> <td>91.8%</td> <td>86.2%</td> </tr> </tbody> </table>	質問項目	H30	H29	入学して満足している (生)	87.5%	84.4%	入学して満足して生活している (保)	93.9%	90.7%	授業に満足している (生)	80.7%	76.0%	学校行事に楽しく参加している (生)	90.7%	84.4%	学校行事に楽しく参加している (保)	96.8%	93.6%	土曜講習や千亀利セミナーに参加するなど学習時間として活用している (生)	61.2%	54.7%	校長ブログやメールで学校の様子が発信されている (生)	83.5%	75.8%	校長ブログやメールで学校の様子が発信されている (保)	91.6%	86.2%	進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (生)	89.7%	84.6%	進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保)	91.8%	86.2%	<p>●第1回学校運営協議会概要 日時 平成30年5月29日(火)15:00～</p> <p>①昨年度の大学進学状況70期生国公立大学合格者数134名(全体の42%) (Q)GLHSになってからの進学状況の変化は?(A)学区制の広がりと共に変化。進路方針を現役で国公立合格から浪人してでも第一志望を貫くに転換。</p> <p>②新1年生(73期)の状況 全員が文理学科。初期指導に力を入れている。企業社長の講演。「21世紀の社会を生きるため高校で身につけておくべき力」OBOG講演会で若手卒業生の「職業人としての心構え」、「高校時代におこななければならないこと」の助言。 ・今年度より「1年岸高スーパー(80名の土曜講習)」と「2・3年スーパークラス(文系・理系40名ずつの2クラス)」の取組みを始めた。 (Q)他のGLHS校でも、「岸高スーパー」のような取り組みはあるか?(A)以前、同様の取り組みをしていた。他校でも生徒の様子を見ながら検討を始めているようである。</p> <p>③景美女子高級中学(台湾)との姉妹校相互交流 今年で9年目になる。毎年4月に景美女子高生が本校を訪れ、10月に修学旅行として景美女子を訪問。ともに母国語ではない英語を使つての交流(リンガフランク交流)は有意義なものとなっている。昨年よりSSH台湾鳥類共同調査も開始し、交流の質も深まりつつある。 (Q)他校における海外研修の状況は?(A)国際系の学校を中心に行われているが、本校ではグローバルリーダー養成のためのプログラム(海外版と校内版)。オーストラリア。新たにドイツ・ザールランド州の高校生との交流も始まり、より充実させていきたい。</p> <p>④平成30年度学校経営計画 4月に教職員に提示し、方向性を合わせた生徒育成を心がけている。今後の新学習指導要領、大学入試改革に対応するべく、SSH課題研究とGLP(グローバルリーダー養成プログラム)を核にして、数多くのハートを燃やす体験で、主体的に学ぶ生徒を育成したい。導入3年目の「岸高手帳」で生徒自身がセルフマネジメントをする。ポートフォリオとしての役割も期待している。教員の働き方改革の目標設定もしている。 (Q)「岸高手帳」の使いかたや効果は?(A)野球部員などは無駄な時間が減り、文武両道のために活用している者もいる。書込み内容も、「勉強がんばる」等の抽象的なのが、反省や次への課題発見等、具体的に書ける生徒も出てきている。中学時代は塾依存の学習習慣が、高校で自主的な学習に転換できるよう、「岸高手帳」を初期指導に活用したい。</p> <p>(提言)人の心の痛みが分かるグローバルリーダー育成を心がけてほしい。(提言)幼稚園でもボランティア等の英語指導者が来て、英語に触れて遊ぶ機会を作っている。9月のドイツの高校生との交流は、幼稚園にも良い機会なので、見学や交流などの企画を進めたらうとよい。</p> <p>●第2回学校運営協議会概要 平成30年10月30日(火)15:00～</p> <p>○広報関係 ・夏の学校見学会 生徒の活動と成長を伝える発表の場を設定(SSH全国大会発表者、ケンブリッジ研修参加者の発表) ・秋の学校見学会 ドイツ研修参加生徒が発表予定</p> <p>① SSH関係 ・第1回探究発表会 9/28(金)午後 ポスター発表 発表会後、運営指導委員会を実施 ・今年度SSH関係の取り組み ・SSH・II期・2年目の進捗状況○学年進行の課題研究 1年『セレンディピティ・国際情報α』(探究基礎から探究導入へ)、2年『文理課題研究』(研究活動)、3年『キャリアスタートゼミ』(論文作成) ○地域へのサイエンスの普及と還元 科学系クラブの実験教室、小学校教員対象の理科実験講座を実施 (Q)『セレンディピティ』の具体的内容は?(A)2年での研究活動を充実のために、探究活動の手法を学びテーマを自分自身で考える時間。 (Q)文科省・JSTからの支援は?(A)理科の実験器具や講演会の講師料等に使用。 (Q)オール文理になって良かったか?(A)生徒にとっては全員が課題研究に取り組めるようになり、良かったと考えている。</p> <p>②グローバル人材育成活動報告 ・グローバルリーダー養成プログラム(校内版)動画で紹介。今年度は夏と冬の2回実施。夏は、1年81名が参加。多様な経験を持つ海外からの留学生16名とのディスカッション、プレゼンを実施。ポジティブ思考や自己肯定感の向上等、研修受講後の生徒に変化が見られた。 ・グローバルリーダー養成プログラム(海外版:UCバーバレー)動画で紹介。グーグル社内見学会も実施。 ・イマージョンプログラム・オーストラリア・2年修学旅行での台湾・景美高級中学校との交流 ・ドイツ・ザールランド州相互交流 9月末13名の生徒が来校、生徒宅にホームステイ。体育祭参加や岸城幼稚園児との交流も実施。(岸城幼稚園園長・永野委員より補足報告)</p> <p>(3)授業見学会 ・2年2組「地理A」グーグルアースを活用した授業 ・1年1組「コミュニケーション英語」 (提言)初めて全員が課題研究に取り組むので、最初から完璧をめざすのではなく、やってみて調整しながら進めると良い。</p> <p>●第3回学校運営協議会概要 平成31年2月5日(火)15:00～実施</p> <p>①・グローバルリーダー養成プログラム紹介 夏の基礎編(81名参加)に続いて、冬の発展編(38名参加)の様子の動画 ・授業改革の取り組み紹介(AI型研究授業国語) 溝上慎一教授を講師に招き、授業観察と研究協議の動画</p> <p>② 学校教育自己診断の結果 12月に実施した診断の報告 (Q)教員の働き方改革への意識は? 時間外勤務時間の10%削減を達成できた。来年度よりは部活動計画の提出により、時間外勤務時間の削減に取り組みたい。</p> <p>③ センター試験結果 1月19日(土)・20日(日)に実施されたセンター試験の、現時点での概況</p> <p>④ 第2回文理課題研究(2月16日実施予定) 口頭発表とポスター発表(理系37、文系64、クラブ5)を実施。今年度より1年全員が文理学科となったため見学者が倍増</p> <p>⑤ 防災関連の見直し 交通機関不通による帰宅困難生徒への対応策の整備や備蓄品の購入を検討中</p> <p>⑥ 平成31年度学校経営計画の説明 ご承認をいただいた。 (Q)新学習指導要領の「カリキュラムマネジメント」や「教科横断」について、どのようにしているか? (A)「教科横断」については2年次の「文理課題研究」での取り組みの中で実施できている。「カリキュラムマネジメント」についても、2年次の「文理課題研究」を中心にすえ、1年次は探究基礎講座、3年次は、研究を各自が論文にまとめることを実施。3年間を有機的につなげながらの本校独自のカリキュラムによってグローバル人材育成に取り組んでいる。 (提言)GLHSの取り組みによって、全府立高校の底上げにつなげてほしい。</p>
質問項目	H30	H29																																
入学して満足している (生)	87.5%	84.4%																																
入学して満足して生活している (保)	93.9%	90.7%																																
授業に満足している (生)	80.7%	76.0%																																
学校行事に楽しく参加している (生)	90.7%	84.4%																																
学校行事に楽しく参加している (保)	96.8%	93.6%																																
土曜講習や千亀利セミナーに参加するなど学習時間として活用している (生)	61.2%	54.7%																																
校長ブログやメールで学校の様子が発信されている (生)	83.5%	75.8%																																
校長ブログやメールで学校の様子が発信されている (保)	91.6%	86.2%																																
進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (生)	89.7%	84.6%																																
進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保)	91.8%	86.2%																																
<p>○生徒と保護者に同様の質問では、保護者の方がやや肯定的に捉えている傾向がある。</p> <p>○全般的に、昨年度より肯定的な意見が増加している。</p> <p>○授業については、生徒参加型の主体的・対話的で深い学びをめざす授業について、教員研修を重ねている。今後も、学校として組織的かつ教員の主体的な授業改善を行うことで、さらに満足度の向上が期待できる。</p>																																		

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 確かな学力の育成・グローバルリーダーの育成</p>	(1)生徒の持てる力を最大限引き出す	(1) ア	(1) ア	(1) ア
	ア 「主体的・対話的で深い学びの授業」と学習評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング (AL) の視点での授業や ICT機器の授業活用した授業に全授業担当者が取り組み、CAN-DO リストや観点別評価を導入し、多面的・多角的な評価に努める。(継続)</li> <li>・「生徒による授業評価」を7月、12月に実施し7月の結果をもとに授業改善シートで改善点を各自明らかにして授業改善に活かす(継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒による授業評価における項目8「授業に興味・関心を持つことができた」と項目9「知識や技能が身についた」の学校平均が(4点満点)3.10以上 (H29は3.08)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校平均は、3.15 (◎)</li> <li>・項目8「授業に興味・関心を持つことができた」 1回 3.13 (◎) 2回 3.12 (◎)</li> <li>・項目9「知識や技能が身についた」 1回 3.17 (◎) 2回 3.19 (◎)</li> </ul>
	イ 授業目標の共有、授業公開週間	イ	イ	イ
	ウ 「土曜の午前は、学習タイム」の徹底	ウ	ウ	ウ
	エ 「岸高スーパークラス」	エ	エ	エ
	(2)GLHS・SSHとしての学力向上や高い志	(2) ア	(2) ア	(2) ア
	ア 英語運用力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新大学入試(英語外部試験)への対応と4技能の生徒の伸長を測定のためにGTECの全員受検を円滑導入する(希望者には、英検・TOEFLも)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年を対象に12月に実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年を対象に12月に実施した (◎)</li> </ul>
	イ 外部連携の取組とリンガ・フランカ交流	イ	イ	イ
	ウ SSHやGLHSの活動の深化普及	ウ	ウ	ウ
	エ AL型授業・ICT活用 「思考力・判断力・表現力」育成のための教員研修	エ	エ	エ
(3) 「朝読」(読書活動)をカリキュラムマネジメントする	(3)	(3)	(3)	
ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長通信「岸高手帳&amp;朝読のススメ」の作成と生徒への配布</li> <li>・朝読が「読解力」「論理的思考」「分析力」の育成や「小論文」指導等に繋がる教員各自の教科指導やHR指導の工夫を「自立・自己実現の支援」の目標に設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月の始業式に配布する</li> <li>・教職員全員が取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月の始業式に配布した (◎)</li> <li>・教職員全員が取り組んだ (◎)</li> </ul>	
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業のドイツ相互交流の目的の明確化を図り、岸高独自のGLP(グローバルリーダー養成プログラム)の1つとなるよう努める</li> <li>・【グローバルリーダー養成基礎】生徒全員が姉妹校(台湾)とリンガフランカ交流で、多様性を理解し協働や英語運用力の重要性を体得する。</li> <li>・【グローバルリーダー養成プログラム(校内版)】留学生招聘実施</li> <li>・【グローバルリーダー養成プログラム(海外大学版)】カリフォルニア大学パークレー校実施。グローバルな視野でキャリア(将来像)を考え、英語運用力やチャレンジ精神、コミュニケーション力、プレゼンテーション力等を鍛える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月の訪独の際の生徒リポートのまとめを作成し、9月の訪日を円滑に行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒リポートのまとめを作成し、台風21号で関空が閉鎖され、来校が危ぶまれた中、情報のやり取りを密にし、交流にこぎつけた。また、帰国時は、台風25号の最接近と離陸時間が重なる中、航空会社との連携でホームステイ先の変更等で対応し関空閉鎖の1時間前に帰国させた。(◎)</li> </ul>	
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSH鳥類海外フィールドワーク(台湾)実施</li> <li>・課題研究の基礎についての講演会を導入</li> <li>・3年生論文集を作成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に実施する</li> <li>・1年生全員に実施する</li> <li>・文理学科理科の生徒全員に実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に実施した (◎)</li> <li>・1年生全員に実施した (◎)</li> <li>・文理学科理科の生徒全員に実施した (◎)</li> </ul>	
エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学教授による「思考力・判断力・表現力」を育む「主体的で対話的な深い学び」をめざす実践的な授業研究の教員研修を年2回行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加満足度 90%以上を維持する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加満足度 100% (◎)</li> </ul>	
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断で学校は研修などで指導法の改善に努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肯定的意見 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>90.9% (◎)</li> </ul>	
(3)	(3)	(3)	(3)	

<p>2 高い志をはぐくみ、 進路実現をめざす取組み</p>	<p>(1)GLHS、SSH事業を活用して3年間を見据えたキャリア教育を実施する ア 体験的キャリア教育の体系化</p> <p>イ 場の力を活用</p> <p>ウ 課題研究の体制</p> <p>(2) 国公立大学志望90%の進路実現</p> <p>ア 学習習慣、時間管理能力の確立 (岸高手帳の活用)</p> <p>イ 進路指導ホームページ計画充実</p>	<p>(1) ア ・3年間の岸和田高校のキャリア教育の流れをポンチ絵等にまとめ、各取組の関連性や目標を見える化する</p> <p>・卒業生による職業講話や、大学教授等の出前講義、SSH講演会などの機会をできるだけ多く提供し、将来について考えさせる(継続)</p> <p>イ ・東大・京大・阪大等のキャンパスツアーを実施する(継続)</p> <p>・国内、海外の研究室の見学、サイエンスツアーなどを奨励する(継続)</p> <p>ウ ALL文理への移行ワーキングチームで引き続き、H31年度の2年次(全員320名)体制での課題研究実施に向けた校内体制を構築する</p> <p>(2) 第1志望の「入りたい大学」をめざし、国公立大学に、合格できるよう生徒が学習できるように、学校として支援する(継続)</p> <p>ア ・1年次から、主体的な学習習慣を確立し、学習時間の確保により、学力を向上し、高い志での進路実現ができる生徒集団を育成する(継続)</p> <p>・ALL文理学科での岸高の進路指導体制の骨格の明確化を図る(新大学入試を見越して)</p> <p>・「岸高手帳」の導入により時間管理能力を育成する(継続)</p> <p>岸高手帳の記入欄の見直しを行い、高校での活動を記録しやすくし、ポートフォリオ機能を充実させ</p> <p>・長期休業期間の効果的な講習を(外部講師の活用も含む)提供する(継続)</p> <p>・3年ゼロ学期(2年12月)を徹底し、受験生宣言やPT(東大・京大・医学部の希望者集団への個別指導)を行う(継続)</p> <p>・3年生対象集中勉強会を実施する(継続)</p> <p>イ ・3年間を見越した進路ホームページを実施する(継続)</p> <p>・模試等分析会に担任だけでなく、副担も参加し、分析会直後に情報の共有し、教科や学年の課題を確認し今後の対応を考える</p> <p>・進路通信(生徒向け)を発行し、校長ブログやメール配信サービスで、配布したことを保護者にも周知する</p> <p>・進路実現プロジェクト(3年12月上旬)受験生応援プロジェクト(12/31)の実施により、センターテスト・2次試験への取組意欲の喚起と頑張りぬく精神力を育む(継続)</p> <p>・生徒、保護者への進学説明会の充実と海外大学進学説明を実施する(継続)</p>	<p>(1) ア ・4月下旬までに、提示する</p> <p>・学校教育自己診断の講演会等の質問項目の肯定的な生徒回答が80%以上維持 (H29は85.9%)</p> <p>イ ・学校教育自己診断の特色のある教育活動等の質問項目の肯定的な保護者回答が80%以上維持 (H29は92.8%)</p> <p>ウ 30年度内に整える</p> <p>(2) アイの取り組みの結果として ・国公立大学合格者数が(現浪合わせて)160人以上 (H29は177人)</p> <p>・(保護者向け)学校教育自己診断結果における進路情報の満足度85%以上を維持 (H29は86.4%)</p> <p>イ ・模試等の結果を振り返る進路HRをH30年4月から、計画的に設定する</p> <p>・海外大学進学説明会を1回以上実施する</p>	<p>(1) ア ・12月に提示した(△)</p> <p>・講演会等の質問項目89.7%(◎)</p> <p>イ 特色のある教育活動等の質問項目94.9%(◎)</p> <p>ウ 30年度内に整えた(○)</p> <p>(2) 国公立大学合格者数が(現浪合わせて)170人(○)</p> <p>・進路情報の満足度91.8%(◎)</p> <p>イ ・模試等の結果を振り返る進路HRをH30年4月から、計画的に設定した(○)</p> <p>・海外大学進学説明会を1回以上実施した(○)</p>
--	--	---	---	---

<p>3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取り組み</p>	<p>(1) 学習とクラブ活動・学校行事の両立</p> <p>ア 学校生活の充実</p> <p>イ クラブ活動の奨励 クラブ活動を核にしたリーダー育成</p> <p>ウ 社会人としての人権意識・マナーの醸成</p> <p>(2)メンタルサポート体制を充実させる</p> <p>ア 教育相談室の(教育相談&amp;支援教育)充実</p> <p>イ 支援の必要な様々な状況を持つ生徒への合理的配慮</p> <p>(3)多様性を感じる体験や異文化理解によるグローバル教育を推進する。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足・文化祭・体育祭・鍛練遠足・合唱コンクール等行事への生徒の主体的な取組を支援する(継続)</li> <li>・岸校グッズにより自己肯定感を高める(継続)</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動への入部を奨励する(継続)</li> <li>・クラブ活動振興のため社会人講師の活用する(継続)</li> <li>・外部講師を招聘したメンタルトレーニングや理学療法的な講演会をクラブ部員中心に実施し、健康を自己管理する能力を高め、高い志の下、活動において良い結果を出せるよう取り組む(継続)</li> <li>・学習とクラブ活動両立の良い事例の共有やリーダー性を高めるためのリーダー研修をクラブ代表者を対象に実施する(継続)</li> </ul> <p>ウ・地域貢献や主権者としての社会参加意識、人権意識の涵養と生活マナーの向上(継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止やネチケツト、LGBT等、人権教育の推進のための教職員や生徒への研修の実施する(継続)</li> <li>・朝の挨拶運動や交通マナー指導をはじめ、定期的な遅刻を実施</li> </ul> <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談室(教育相談&amp;支援教育)の円滑な運営を行う(継続)</li> <li>・教育相談室への、生徒・保護者・教職員の利用をすすめる(継続)</li> <li>・教育相談室が、教職員の意識・スキル向上のための研修の計画およびその実施する(継続)</li> <li>・外部のカウンセラーを定期的に活用し、精神的ケアの必要な生徒・保護者・教職員に適切な支援を行う(継続)</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な状況の生徒の教育的ニーズに応じて、適切な支援する(継続)</li> <li>・必要に応じて福祉や医療など外部機関と連携(継続)</li> <li>・キャリア教育(大学卒業後の就労支援に向けた配慮など)を検討する</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外視察校の受け入れる(継続)</li> <li>・姉妹校や新たなドイツとの相互交流を深化する</li> <li>・ドイツとの交流をはじめ、GLP(校内版)等でのホームステイ受け入れ家庭を推進し、生徒や保護者の異文化理解を進める。</li> </ul>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事アンケートの満足度の把握し、満足度80%以上維持(H29は、84.4%)</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動入部率90%以上を維持</li> <li>・講演会参加者数 200名以上を維持する</li> <li>・リーダー研修を1回以上</li> </ul> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総遅刻数 2,000回以下を維持。</li> <li>・社会科を中心に計画的に主権者教育実施</li> </ul> <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談室会議を各学期に2回定例会議を持ち、その他随時に対応。</li> <li>・生徒、保護者、教職員向けに相談日より「オアシス」の年間5回以上の発行</li> <li>・年間1回以上の研修を行った</li> <li>・年間1回以上の研修</li> <li>・スクールカウンセラーとの情報交換会の学期1回実施</li> </ul> <p>イ. 相談室会議において、教育的ニーズのある生徒への支援に知恵を講じる。必要な生徒を把握することを行う。</p> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの訪問校を3校以上招致</li> <li>・ホームステイ受入家庭を10家族以上</li> </ul>	<p>(1) ア</p> <p>行事アンケートの満足度 90.7% (◎)</p> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動入部率 95% (○)</li> <li>・講演会参加者数 210名 (○)</li> <li>・リーダー研修を1回 (○)</li> </ul> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総遅刻数 1879回 (◎)</li> <li>・社会科を中心に計画的に主権者教育実施した(○)</li> </ul> <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談室会議を各学期に2回定例会議を持ち、その他随時に対応した (○)</li> <li>・生徒、保護者、教職員向けに相談日より「オアシス」の年間5回以上の発行した (○)</li> <li>・年間1回以上の研修を行った (○)</li> <li>・スクールカウンセラーとの情報交換会の学期1回実施した (○)</li> </ul> <p>イ. 相談室会議において、支援を必要な生徒を把握するごとに支援をおこなった。(○)</p> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの訪問校を4校招致 (○)</li> <li>・ホームステイ受入家庭を35家族 (◎)</li> </ul>
--	--	--	--	--

## 府立岸和田高等学校

<p>4 地域・保護者との連携と環境整備</p>	<p>(1)情報を収集し、地域や保護者に情報を発信する。</p> <p>(2)地域を中心とした社会参加・社会貢献に取り組む</p> <p>(3)生徒と教職員の安全安心な学習環境</p>	<p>(1)情報発信 ア ・本校 Web ページの「岸高アーカイブ」(科目・部活動の課題研究成果)「SSH ブログ」「教育コレクション」「校長ブログ」などを通して本校の教育活動の広報を推進する (継続)</p> <p>・文化祭や体育祭、生徒研究発表会の保護者や地域に公開する (継続)</p> <p>イ ・学校Web ページの改善し中学生に魅力あるものにする</p> <p>・校長ブログやメーリングリストにより情報発信する(ブログ平日は更新。メール週末発信) (継続)</p> <p>・「岸高レター」保護者や中学校対象に発行する年2回以上 (継続)</p> <p>・特徴のある授業や取組のショート動画を本校 Web ページで紹介する</p> <p>(2)社会貢献について考えさせるGLHS講演会の実施する</p> <p>ア ・地域の幼稚園との計画的なサービスラーニングを実施する (継続)</p> <p>・近隣の幼稚園との1年を通じた交流する(継続)</p> <p>イ ・岸高桜祭の内容の精選と地域中学生へ招致の工夫</p> <p>・近隣の幼稚園との防災教育・共同避難訓練を行い、近隣の住民との防災教育を通じた意見交流を行う (継続)</p> <p>・公開食育講座を実施する (継続)</p> <p>(3) ・津波や地震の避難経路や場所の見直しと新しい避難訓練の導入など、防災意識の強化する</p> <p>・ノークラブディの励行と全庁退庁日の徹底</p>	<p>(1) ア、イ ・(保護者向)学校教育自己診断結果における情報共有満足度85%以上維持(H29は、86.2%)</p> <p>(保護者向)学校教育自己診断結果における「国際交流SSHなどの特色ある教育活動」80%以上(H29は、85.9%)</p> <p>イ ・学校Web ページの改善を1学期中に開始する</p> <p>・この4年間の発信数を維持する</p> <p>(2)講演会を1回以上実施 ア・地域の幼稚園との交流を各学期に1回、年3回以上実施</p> <p>イ ・岸高桜祭の来校者200人以上を維持</p> <p>・近隣幼稚園との防災教育、共同避難訓練を2回以上</p> <p>・近隣小学生、卒業生を招いた食育、クッキング教室の開催を年3回以上実施</p> <p>(3)新しい避難の方法の導入を1年生から学年進行で行う</p> <p>・随時、呼びかけを続けていく</p> <p>時間外勤務の月平均時間の年間(4月～2月)平均の時数の10%削減</p>	<p>(1) ア、イ ・情報共有満足度 91.6% (◎)</p> <p>・「国際交流SSHなどの特色ある教育活動」94.9% (◎)</p> <p>イ ・学校Web ページの改善を1学期中に開始し、1月に大幅な更新を実施した (◎)</p> <p>・この4年間の発信数をほぼ維持している (○)</p> <p>(2)講演会を1回実施した (○) ア・地域の幼稚園との交流を各学期に1回、年3回以上実施し、今年はドイツの高校生と幼稚園の交流も実施した。(◎)</p> <p>イ ・岸高桜祭の来校者数の受付方式の変更でカウントできなかった (△)</p> <p>・近隣幼稚園との防災教育、共同避難訓練を2回実施した (○)</p> <p>・近隣小学生、卒業生を招いた食育、クッキング教室の開催を年3回実施した (○)</p> <p>(3) 1年生は、南海本線より山側にある公園まで、歩いて避難する訓練を実施した (○)</p> <p>・随時、呼びかけを続け、月ごとに時数個票を配布した (○)</p> <p>・時間外勤務の月平均時間の年間(4月～2月)平均の時数の10.9%削減 (○)</p>
------------------------------	--	---	--	--